

ひふみのあゆみ



ひふみらいと 追加型投信/内外/資産複合 2024年4月度 月次ご報告書

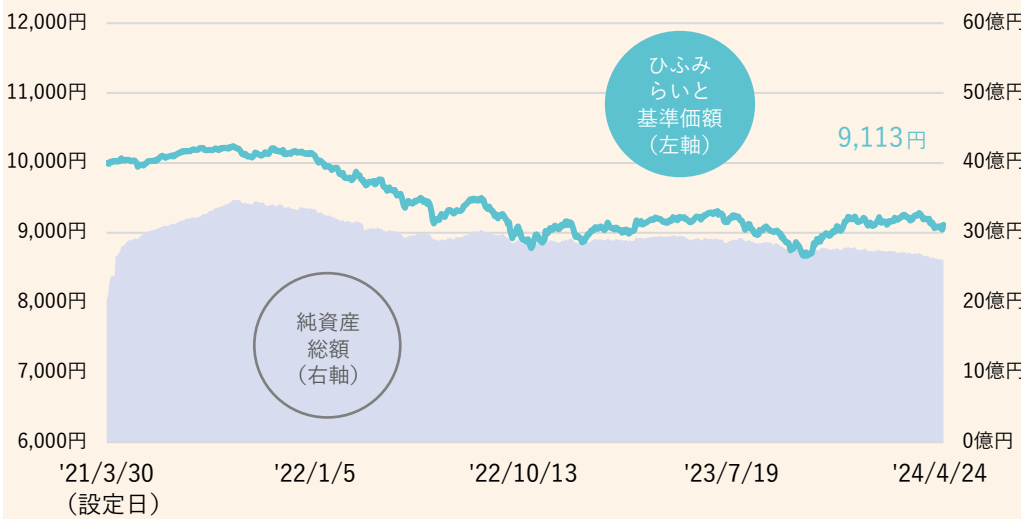
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみらいと」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2024年4月30日

運用実績

基準価額等の推移（日次）



※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

※「ひふみらいと」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」90%、「ひふみ投信マザーファンド」5%、「ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）」5%を維持することを目指して運用を行なっています。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用実績」をご覧ください。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみらいと	-1.69%	-0.42%	4.82%	-0.77%	-9.06%	-8.87%

ひふみらいとの運用状況

基準価額	9,113円
純資産総額	26.20億円
受益権総口数	2,875,995,405口

ひふみらいと 投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	89.71%
ひふみ投信マザーファンド	5.02%
ひふみワールドファンド*	5.15%
現金等	0.12%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第3期	2024年4月	0円
第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-144円
ひふみ投信マザーファンド	-16円
ひふみワールドファンド*	+7円
信託報酬・その他	-4円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	-150円
株式・投資証券	-26円
為替	+11円
信託報酬・その他	+9円

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

ひふみグローバル債券マザーファンドの状況	
純資産総額	177.14億円
組み入れ銘柄数	28銘柄
種別比率	
国債	64.36%
社債	17.99%
住宅ローン担保証券	6.98%
地方債	2.73%
特殊債	1.96%
国際機関債	1.67%
債券先物取引	-21.21%
現金等	25.53%
合計	100.00%

為替ヘッジ比率	
	94.60%

組み入れ上位5通貨 比率	
1 米ドル	39.68%
2 日本円	27.50%
3 ユーロ	22.99%
4 オーストラリア・ドル	2.73%
5 中国元	1.96%

ポートフォリオ特性値	
最終利回り	3.62%
デュレーション	7.7
格付比率	
AAA	28.00%
AA	5.37%
A	52.52%
BBB	9.78%
BB以下	-
資産別比率	
海外債券	68.18%
国内債券	27.50%
債券先物取引	-21.21%
現金等	25.53%
合計	100.00%

組み入れ上位5カ国 比率	
1 アメリカ	31.85%
2 日本	31.26%
3 スペイン	11.33%
4 イタリア	8.96%
5 オーストラリア	2.73%

組み入れ上位10銘柄 比率						
銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率	
1 日本国債 (30年)	国債	日本	日本円	2052/12/20	10.56%	
2 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	10.27%	
3 スペイン国債	国債	スペイン	ユーロ	2033/4/30	9.45%	
4 イタリア国債	国債	イタリア	ユーロ	2033/11/1	8.96%	
5 日本国債 (40年)	国債	日本	日本円	2063/3/20	7.06%	
6 米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	アメリカ	米ドル	2053/6/20	6.98%	
7 三井住友フィナンシャルグループ	社債	日本	米ドル	2027/1/14	5.33%	
8 日本国債 (20年)	国債	日本	日本円	2042/12/20	4.95%	
9 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/8/15	3.97%	
10 UBSグループ	社債	スイス	米ドル	2026/5/12	2.67%	

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。
（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）
最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。
デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいかほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」「資産別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」は、現物資産について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、純資産総額に対する為替予約評価額と円貨資産額の合計の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	8,584.82億円
組み入れ銘柄数	181銘柄
資産配分比率	
国内株式	88.76%
海外株式	8.73%
海外投資証券	0.13%
現金等	2.37%
合計	100.00%

市場別比率

プライム市場	86.59%
スタンダード市場	1.59%
グロース市場	0.58%
その他海外株	8.86%
現金等	2.37%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率

1 電気機器	10.25%
2 機械	8.53%
3 情報・通信業	7.49%
4 サービス業	7.04%
5 小売業	6.44%
6 輸送用機器	6.43%
7 銀行業	5.19%
8 建設業	5.12%
9 化学	3.53%
10 食料品	3.27%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式、海外投資証券については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型(3,000億円以上)

中小型(300億円以上、3,000億円未満)

超小型(300億円未満)

組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	7203	大型	プライム市場	輸送用機器	4.87%
2	NVIDIA CORPORATION	NVDA	大型	NASDAQ	その他海外株	2.12%
3	M & A 総研ホールディングス	9552	中小型	プライム市場	サービス業	2.00%
4	DMG 森精機	6141	大型	プライム市場	機械	1.63%
5	味の素	2802	大型	プライム市場	食料品	1.57%
6	MICROSOFT CORPORATION	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.53%
7	ダイキン工業	6367	大型	プライム市場	機械	1.52%
8	第一生命ホールディングス	8750	大型	プライム市場	保険業	1.49%
9	日立造船	7004	中小型	プライム市場	機械	1.47%
10	鹿島建設	1812	大型	プライム市場	建設業	1.45%

ひふみワールドファンド* 運用状況

純資産総額	173.51億円	投資信託財産の構成
		ひふみワールドマザーファンド 100.17%
		現金等 -0.17%
		合計 100.00%

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

ひふみワールドマザーファンド 運用状況

ひふみワールドマザーファンドの状況	組み入れ上位10カ国 比率
純資産総額 3,092.22億円	1 アメリカ 67.45%
組み入れ銘柄数 119銘柄	2 ドイツ 5.26%
資産配分比率	3 イタリア 4.70%
海外株式 94.67%	4 イギリス 3.96%
- -	5 フランス 2.82%
現金等 5.33%	6 スウェーデン 2.08%
合計 100.00%	7 デンマーク 1.97%
	8 スイス 1.65%
	9 カナダ 0.98%
	10 台湾 0.81%

組み入れ上位10業種 比率	組み入れ上位10通貨 比率
1 資本財 19.23%	1 米ドル 77.09%
2 ソフトウェア・サービス 9.27%	2 ユーロ 9.53%
3 半導体・半導体製造装置 8.74%	3 イギリス・ポンド 2.39%
4 自動車・自動車部品 6.98%	4 デンマーク・クローネ 1.97%
5 金融サービス 6.61%	5 スイス・フラン 1.15%
6 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 5.56%	6 スウェーデン・クローナ 0.92%
7 エネルギー 5.10%	7 香港ドル 0.79%
8 テクノロジー・ハードウェアおよび機器 4.71%	8 ノルウェー・クローネ 0.42%
9 メディア・娯楽 4.63%	9 台湾ドル 0.41%
10 一般消費財・サービス流通・小売り 4.25%	10 フィリピン・ペソ 0.00%

組み入れ上位10銘柄 比率				
銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1 FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	3.68%
2 MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.88%
3 DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG	ドイツ	ユーロ	自動車・自動車部品	2.80%
4 AMAZON.COM, INC	アメリカ	米ドル	一般消費財・サービス流通・小売り	2.47%
5 VERTIV HOLDINGS CO	アメリカ	米ドル	資本財	2.19%
6 AMERICAN EXPRESS COMPANY	アメリカ	米ドル	金融サービス	1.97%
7 NOVO NORDISK AS	デンマーク	デンマーク・クローネ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.97%
8 EMERSON ELECTRIC CO	アメリカ	米ドル	資本財	1.88%
9 MTU AERO ENGINES AG	ドイツ	ユーロ	資本財	1.80%
10 MOTOROLA SOLUTIONS, INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.79%

ひふみグローバル債券マザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみグローバル債券マザーファンド	-1.72%	-1.42%	2.88%	-3.73%	-11.83%	-11.67%

ひふみ投信マザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみ投信マザーファンド	-3.44%	6.61%	20.32%	30.64%	23.35%	20.59%

ひふみワールドマザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみワールドマザーファンド	1.42%	14.16%	34.23%	43.33%	52.02%	60.22%

※「ひふみらいと」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「ひふみらいと」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「ひふみらいと設定来」は、「ひふみらいと」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「ひふみらいと」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

当ファンドに組み入れている3つのファンドのうち「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は上昇したものの、「ひふみ投信マザーファンド」「ひふみグローバル債券マザーファンド」が下落したため、基準価額は前月末から1.69%下落しました。

【ひふみ投信マザーファンド】

日本株は、今年に入り初めて下落した月となりました。当ファンドの基準価額は月間で3.44%下落しました。米国における金融引き締め、長期化、中東を巡る地政学リスクの悪化、半導体関連株の決算・ガイダンスを受けた失望、歴史的な円安を背景にした日銀の追加利上げへの思惑などが逆風となりました。

【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

米国株も下落しましたが、円安がパフォーマンスをカバーした格好です。当ファンドの基準価額は月間で1.41%上昇しました。半導体関連株の決算やガイダンスでは、AI関連の分野が強い一方、自動車向けやスマホ向けでは鈍い動きとなりました。金利上昇もハイテク株の売りに繋がりました。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

債券市場では、主要国の長期金利が上昇しました。当ファンドの基準価額は月間で1.72%下落しました。米国ではFRB（連邦準備制度理事会）高官から、早期の利下げに否定的な発言が相次ぎ、市場の利下げ期待が後退して長期金利に上昇圧力がかかりました。日本でも円安が輸入物価の上昇を通じて消費者物価の上昇要因となれば、日銀の追加利上げが前倒しされるとの見方が広がり国内債にも売りが出ました。

引き続き、株式・債券チーム一丸となって全力で運用に努めてまいります。

(5月2日)



ひふみらいと
ファンドマネージャー
橋本 裕一

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社J P X総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

米国ではインフレ率をはじめ経済指標が軒並み堅調で、長短金利は大きく上昇しました。利下げに積極的であったパウエル議長らは白旗を上げた格好です。6月の利下げの可能性はほぼ消滅し、年末までの利下げ織込みは1.2回程度にまで低下しました。今後に関しては、当面の利下げ織込みがさらに剥落する可能性がある一方で、長期金利に関しては昨年10月の金利上昇時と異なり、発行増額による需給悪化の可能性が低く上昇幅は限定的と考えています。また、そもそも高金利によって政府から民間への利払いが増えること自体は景気を刺激します。現在のように政府債務が大きい場合、従来から想定されている景気抑制効果を上回って、高金利が景気を刺激している可能性もあります。FRB（連邦準備制度理事会）は当面利下げ、利上げともに見送ることを想定しています。

円金利も上昇しました。円安が進んだため、日銀が利上げせざるをえなくなるという見方が広がりました。注目されている日銀による国債買入は4月中の減額はなく、金融政策決定会合後の総裁記者会見でも減額に否定的な発言がありました。我々は現行の買入額を4～6月の3ヵ月間キープした後に減額プロセスがスタートすると予想しています。ドル円に関しては、160円／ドルを突破した後に介入によると思われる大きな下落が見られました。150円／ドルを下回らない限り、比較的早期に0.25%への利上げが行なわれると予想しております。

欧州債は、比較的堅調に推移しました。6月からの利下げを90%程度織込んでおり、今後も堅調な推移を予想しています。

全力で運用してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

(4月30日)



ひふみグローバル債券
マザーファンド
ファンドマネージャー
福室 光生

債券ってなに？～債券の基礎知識～【YouTube】

ひふみらいとがひふみグローバル債券マザーファンドを通じて投資している「債券」について、いまさら聞けない基礎知識を約10分で解説する動画をYouTubeの公式チャンネルにて好評配信中です。

専門用語をできるだけ使わずに、当社社員が分かりやすくお伝えしております。

ぜひご視聴いただき、債券運用への理解の一助としていただければ幸いです。



レオス・キャピタルワークス
【投資信託「ひふみ」公式】YouTubeチャンネル
登録者数2万人突破！
チャンネル登録をお願いします！

4月に入り、米国が高金利の状態の中でも個人消費が好調でインフレが高止まりをしており、市場関係者が待望している米国金利の引き下げの見通しが遠のいたことで、米国の株式市場はS&P500が4.16%のマイナスと低調でした。特にこれまで好調だったNVIDIAやAI関連銘柄が利益確定売りの動きもあり、軟調な動きになりました。国内では円が一時1米ドル160円台にのせるなど円安がすすみ、また政治では衆議院の補欠選挙で3地域で自民党が惨敗するなど、政治経済ともに不安定な状況になりました。

ひふみ投信マザーファンドは下落率の高いAIや半導体関連企業を買い増しするとともに、これから成長性が高いと思われる割安高成長株や中小型株の比率を若干引き上げました。5月は決算シーズンで、多くの保有企業が好決算を出すことを予想しています。そのあとに好業績保有銘柄が業績を受けて買われる展開を予想しており、パフォーマンスの向上を期待しております。

今月は組み入れている米国株の不振などによりパフォーマンスが低調でしたが、米国株のリバウンドと好業績株の見直しにより5月は復調することを期待しております。これからも全力を尽くしますので、ひふみらいとを何卒よろしくお願いいたします。

(5月7日)



ひふみ投信マザーファンド
ファンドマネージャー
藤野 英人

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

4月の米国株式市場は下落しました。月初はパウエル議長を始め、FRB（連邦準備制度理事会）高官から利下げを急がない旨の発言が相次いだことから、利下げ期待が後退し、株式市場も利益確定売りに押される展開となりました。その後発表された消費者物価指数に加えて小売売上高も上振れたことから、利下げ期待がさらに後退し、下落が加速しました。中旬から1～3月期の決算発表が始まると半導体関連株に対する失望からさらに下落し、S&P500指数は一時5,000ポイントを割れる局面がありました。しかし、その後は主力銘柄が堅調な決算を発表するに従い、値をやや戻す展開となりました。

2010年代の長い期間、世界最大の時価総額銘柄の座にはアップルがいました。しかし、2019年以降は売上の大半を占めるiPhoneの成長率の低下とともに、マイクロソフトと抜きつ抜かれつの状況になりつつあります。マイクロソフトは1999年前後のドットコム時代にも世界最大の時価総額であった時期がありました。当時のマイクロソフトの売上の大半は基本ソフトであるWindowsとOfficeから得ていました。ドットコムバブル後のマイクロソフトはPC市場の成長鈍化の影響を受け、株価が長く低迷する時期が続きました。しかし、2010年代からはAzureなどクラウドビジネスの投入により再評価され始め、2019年にはアップルを抜き約20年ぶりに世界最大の時価総額に返り咲きます。今年2024年はアップルの株価がさえない一方、マイクロソフトはオープンAIへの投資が評価されAI銘柄としても堅調な株価推移となっています。これらのマイクロソフトの株価、成長を牽引したソフトやサービスは必ずしも独自性、新規性のあるものではありませんでした。WindowsはMacintosh（MAC）の後追いであるのは有名な話ですし、AzureもアマゾンのAWSの後追いです。

株価の上昇とイノベーションは不可分のものとして扱われますが、マグニフィセント7と呼ばれる銘柄でもファウンダー（創業者）や内部の社員からのひらめきでオーガニックに生まれ、成長を遂げた事業というのは実はそれほど大きくはありません。メタ・プラットフォームズの最大のサービスであるFacebookも、マーク・ザッカーバーグがハーバード大学の学生時代にウィンクルボス兄弟の先行サイトであるHarvard Connectionを模倣したのは有名な話ですし、テスラは電気自動車専業であることが珍しいだけで電気自動車というアイデアは19世紀から存在していますし、アルファベットのGoogleも検索サイトとしては後発でした。

このように、株式市場全体のドライバーはどこかで生まれたイノベーションであっても、個々の株価のドライバーはイノベーションよりも、マイクロソフトのように小さく生まれたイノベーションを大きく拡大する能力、資源、社風があるかどうかの方が重要ではと考えられます。

今後も全力を尽くして運用してまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。



ひふみワールドマザーファンド
ファンドマネージャー
湯浅 光裕

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



米欧日の投資環境、概ね適温経済

ユーロ圏6月利下げ、米国後ズレ・秋から？

主要国で懸案のインフレは大勢として適正レベルに向けて減速基調にありますが、もうあと少しのところまで足踏み（下げ渋り）といったところです。主要国の雇用や景気は総じて堅調が続いています。金融政策面ではユーロ圏で6月から利下げ局面入りの可能性が高いとみられる一方、米国では利下げ観測が後ズレし、秋以降、利下げに向かうとの見方に傾いています。日本は春闘で5%超の高い賃上げ率（ベースアップ3.5%前後）が示されるなど長期デフレからの脱却の可能性が高まり、3月にマイナス金利撤廃など利上げが行なわれましたが、今年後半（概ね10～12月期）に再利上げの見方が増えています。米国、欧州、日本の投資環境は概ね程よいインフレ率に近づきつつ、低い失業率が併存する「適温経済」に近いと評価されます。

ハマスによるイスラエル攻撃（2023年10月7日）以降、中東情勢が緊迫化しましたが、地域限定的との見方から主要国株価などへの悪影響は限定的でした。ところが、4月1日に在シリアのイラン大使館が空爆されたことで、イランとイスラエルが報復攻撃を交え、4月中旬にかけて原油高とリスク回避から日米株価などが急落となりました。今後、イランとイスラエルが全面戦争に発展するようであれば、原油急騰とリスク回避から株価急落につながるでしょうが、その可能性は低いとみまます。主因としてイスラム原理主義を輸出しようとするイランに対してアラブ各国は警戒感が強く、イランは中東地域で孤立化を強めている点です。米国もイランに対して厳しい敵対姿勢（経済制裁でイラン経済停滞）ですが、一方でイスラエルに対しても行き過ぎを抑制するよう働きかけています。両国および関係国は全面戦争を望んでいません。

世界の株式市場は日米株主導で1～3月期に急上昇を遂げましたが、米国の利下げ時期の後ズレ観測と長期金利の上昇、中東情勢不安などから、牽引役だった日米株は高値波乱の様相になっています。市況性格的にはスピード調整、中間反落（上昇相場の中の一時的な調整）とみられています。5月1日に米国金融政策会合の結果が発表になりましたが、今後、利上げの選択肢はほぼ無く、インフレは減速傾向にあり、どこかの時点で利下げを行なう姿勢であることが示されたと思います。適温経済下にある米国株は下値限定的とみられますが、年後半のどこかの時点で利下げに向かうようであれば上昇相場の様相を強めると推察されます。欧州株は企業収益のモメンタムが日米ほど強くありませんが、6月からコンセンサス通り利下げ局面に入ると、金利低下（金融緩和）が株価を支援する形になりそうです。

日本株は、賃金の上昇を伴う形で「経済の好循環」が回る形になりそうですし、インバウンドの増加や、半導体関連などにおける国内外企業の投資活発化が見込まれます。不正や地震の影響で減産していた自動車産業も挽回生産に向かっています。加えて、日本取引所グループや金融庁から企業の資本効率改善、企業統治改革に関する要請が強くなり、2024年度も経営変革が一段と進むでしょう。マクロ環境改善とミクロ変革の両輪揃う形で日本株を支援しそうです。

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

ゴールデンウィークの過ごし方は？
投資家としての視点から何か特別な活動はありますか？



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役社長
最高投資責任者

今年のGWは読書三昧です。とにかく本をしっかり読もうと思っています。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長

都内の空いているところで食事したり、散歩したり、買い物したり、いつもの週末と同じように過ごします。



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
運用本部長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

日本企業は本決算シーズンに重なるため、昼間の家族サービスの後は決算書を夜読むような生活になります。あとは、行楽シーズンの人の動きを気にして、出かける時は混み具合や天候を気にして見るようにしています。今年は前半は雨、後半は晴れ、暑くなる予報なので、そこそこの行楽日和でしょうか。



Senoh Masanao
妹尾 昌直
運用副本部長
株式戦略部長
シニア・アナリスト

自分はいつもとは違った特別な事をやろうとはせずに、通常の土日のように過ごしつつ、一方で何か変化の兆しなどが無いかわりをよく観察して過ごしてみつもりです。



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

昼間の空いた時間はラジコンサーキットに行こうと思いますが、海外企業の決算発表はまだまだ続く時期なので、夜はニュースやチャートを見ていると思います。私が銀行員の新人の頃は暇な時期ですら有給を取るのには犯罪に等しい行為でしたので祝日は貴重な休みでした。しかし、今はそんな雰囲気のない会社もなくなり有給取得の自由度が高まっているがゆえに逆に祝日の存在が鬱陶しいと思うことが増えてきました。海外から見ても多すぎる祝日はリストラを考えるべきではないでしょうか。



Naito Makoto
内藤 誠
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

インバウンド需要を体感するべく温泉街に出かける予定です。

運用メンバーからのメッセージ



Zhou Huan
周 歆
シニア・アナリスト

友人が日本へ遊びに来るので、一泊二日の横浜観光に連れていく予定です。それ以外はいつも通り、海外の決算状況を気にしながら子育てをしたいと思います。



Kubo Tomohiko
久保 智彦
シニア・アナリスト

実家のほうに帰省しつつ、行楽地で人ごみに揉まれてきます。昨年、一昨年も同じような旅程だったので、変化を感じたいと思います。



Ohara Kenji
大原 健司
シニア・アナリスト

決算期なので資料やレポートを読んだりする時間も多のですが、昼間はBBQしたりランニングしたりしてリラックスします。



Matsumoto Ryoga
松本 凌佳
アナリスト
ファンドマネージャー

たくさんの企業が決算発表に際して、中期的な成長計画を発表してくださるタイミングです。1つ1つの資料を大切に読んでいけたらと思っています。同様にAIについても、さまざまな機能強化や新規公開があり、それを利用したサービスが増えてきています。色々試してみたいです。



Ito Tsubasa
伊藤 翼
アナリスト

友人と観光地に行ったりBBQしたりする予定です。残りの時間は決算書を読んだり、読書などで知識をインプットする時間に充てようと思っています。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
小型株戦略室長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

しずかにひとつのことに集中できる貴重な時間が確保できそうなので、読書をしようと思っています。あとは投資行動の大枠を点検する時間にしたいと思います。



Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

自分の調査手法を見直したり、資本市場にいる他社の戦略を研究したり、自分自身を俯瞰する時間を取っています。

運用メンバーからのメッセージ



Fukumuro Mitsuo
福室 光生
債券戦略部長
シニア・ファンドマ
ネージャー

海外市場、特に為替の攻防をウォッチします。帰省する際は、神社に参拝して気を整えます。今回は三河地方中心に回る予定です。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
ファンドマネー
ジャー
兼マーケットエコノ
ミスト

数学をやります。経済を理解するためには特に要らないですが、経済学を理解するためには必需品であることを痛感する今日この頃です。



Rahimian Behrad
ラヒミアン ベー
ラド
アナリスト
ファンドマネー
ジャー

日本の祝日などお構いなしに発表される米国企業の決算をフォローしつつ、天気が良ければバイクに乗って2泊3日程度の旅行でもしたいです。そのために先日オイル交換と洗車を済ませてきました。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

日本で最もよい季節の1つがゴールデンウィークですので散歩などして季節感を味わいたいです。市場は結構動きやすい季節性がありますね。

ひふみ公式LINEアカウント



ひふみ

「ひふみ」を運用するレオス・キャピタルワークスはお客様に向けてLINEでの情報提供を始めました。お客様と長期的な資産形成を一緒に行なっていくためにさまざまな情報をお届けします。

こちらから**LINEお友だち登録**をお願いします
またはLINEにて「ひふみ」で検索

LINEでできること

- ✓ ひふみ口座へのログイン
- ✓ 記事コンテンツ、映像コンテンツの配信をお知らせ
- ✓ 当社イベント・セミナーのお知らせと申し込み
- ✓ メニュー画面からYouTube「お金のまなびば！」へ簡単アクセス
- ✓ 随時、ひふみからの記事や動画のお知らせも届きます！

ひふみらいとの特色

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみワールドの特色（ご参考）

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じる場合があります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

お申込メモ

	ひふみらいと	ひふみ投信（ご参考）	ひふみワールド（ご参考）
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	追加型投信／内外／株式	追加型投信／海外／株式
当初設定日	2021年3月30日	2008年10月1日	2019年10月8日
信託期間	無期限		
決算日	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）		
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から支払われます。	換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。	—	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。		
	NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。	NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」および「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象です。	NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。
	詳しくは、販売会社にお問い合わせください。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみらいと	ひふみ投信（ご参考）	ひふみワールド（ご参考）
運用管理費用（信託報酬）	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して年率 0.55%（税込） を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して年率 0.0022%（税込） 実質的な負担※：純資産総額に対して年率 0.5522%（税込）程度	信託財産の日々の純資産総額に対して年率 1.078%（税込） を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して年率 1.628%（税込） を乗じて得た額
監査費用	信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。 ※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。		
その他費用・手数料	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	
	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行いません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：(ひふみらいと)三井住友信託銀行株式会社
(ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社
(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください

各ファンドについてのお問い合わせ先



レオス・キャピタルワークス株式会社
コミュニケーション・センター
電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp
受付時間：営業日の9時～17時
ウェブサイト：<https://www.rheos.jp/>